

花々を
撫でる春風
桜の花
撫でられ揺られ
落ちて散って行く
西行寺幽々子



甘黒く
渡す心の
緊張は
苺の味の
甘酸っぱい夢
ぺんぎん!



げに美しき
花は舞い散り
春風に
風いだ水面
桜色
風桜



遮二無二に
鼓翼せんとする
若人は
軀小さく
志巨軀
反重力握り寿司



休校で
友に会えぬ
寂しさは
友の大切さ
学べる糧に
小春



なでられゆ
ちられおちて
ちって行く

いちごのあじ
のあまがっぱ
いゆめ

ないだすい
めんさくら
いろ

むくろちい
さくこころ
ざしきよく

とものたい
せつさまな
べるかてに